

緑燃え星が輝く

日南町

文豪たちが愛した第二の故郷



夜毎の星欄干たり
四季を問わず凜々たる香気渡る
ああここ中国山脈の稜線
天体の植民地

井上靖
いのうえ やすし
一九〇七〜一九九一

幼き日夜ごと父の手枕で
聞きしその故郷 矢戸
いまわが目の前に在り

まつもと せいちょう
松本清張
一九〇九〜一九九二



松本清張文学碑
父への愛、その郷里・矢戸への思いが凝られた石碑。

松本清張資料室 (日野上地域振興センター内)
直筆の書画や手紙、矢戸を描いたスケッチなど、貴重な資料に目がくぎ付け。

井上靖記念館 野分の館
井上靖の年譜や数々の写真、原稿等を丁寧に展示。前庭には文学碑も。

松本清張文学展示室 井上靖文学展示室 (日南町総合文化センター内)
両氏の日南町とのゆかり、町を舞台にした作品等を紹介。書斎等の再現も。

井上靖文学展示室
両氏の日南町とのゆかり、町を舞台にした作品等を紹介。書斎等の再現も。

池田亀鑑文学碑
日南町が誇る偉大な国文学者。「源氏物語」研究に多大な功績を残しました。

そば処かめや
奇岩怪石が連なる深谷。深緑・紅葉時がおすすめ。

井上靖の妻が疎開中暮らした「曾根の家」跡や、家々の屋号看板が今も残っています。

井上靖
いのうえ やすし
一九〇七〜一九九一

【凡例】 宿泊施設 食事 お土産 観光・体験 駐車場 お手洗い 道の駅

日南ブランド
日南高原育ち、生産者の思いが詰まった農産物は驚くほどの美味しさ！

日南トマト
濃い味、フルーツのような甘みは、まさに畑が生んだ芸術品。

そば
高原の気候で育ったそばは風味豊か。挽きくろみで頂きます。



春の嵐・通夜の客 井上靖 / 著 (角川文庫)
半生の記 松本清張 / 著 (新潮文庫)

■アクセス

車	・米子鬼太郎空港→R180号→日南町	約1時間10分
車	・JR米子駅→R180号→日南町	約50分
鉄道	・JR米子駅→JR生山駅(普通)	約1時間10分
鉄道	・JR米子駅→JR上石見駅(普通)	約1時間25分

鳥取県最南西部、四方を山に囲まれた自然豊かな日南町。日本を代表する二人の文豪は、「ここを「第二の故郷」と慕いました。

井上靖は、昭和二十年六月から十二月までの約半年間、空襲を浴びる大阪から旧福栄村太田集落へと妻子を疎開。その間自身もたびたびこの地を訪れ、輝く星の美しさを「天体の植民地」と称しました。もう一人は松本清張です。父の生まれ故郷である矢戸のことを幼い頃から寝物語に聞いていた彼は、「父の目になって帰りたい」と、生涯に四度この地を訪れました。

心に同じ風景を持っていった彼ら。その小説の舞台にもなった日南町の素朴な美しさは、あなたの胸にも感動を残さずす。

飲食店情報

そば処かめや
日南町産の甘みと香り豊かなそばは絶品！
TEL 0859-83-0238
完全予約制 日曜日

にちなん日野川の郷
地元の新鮮食材たっぷり美味&ヘルシー。
TEL 0859-82-1707
【レストラン】
9:00~17:00(食事は11:00~15:00)
休 第2水曜日

文学関連施設

■井上靖記念館 野分の館
TEL 0859-82-1115(日南町企画課)
9:00~17:00 休 無休 料 無料

■松本清張資料室
TEL 0859-82-0318(要予約)
9:00~11:45, 13:00~16:30
休 土・日曜日、祝日 料 無料

■松本清張文学展示室・井上靖文学展示室
(日南町総合文化センター内)
TEL 0859-77-1113
8:30~17:00
休 月曜日、祝日(月曜が祝日の場合翌日も休館)